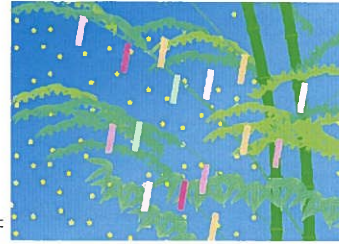


## りんご・きのこ・うどんの里



編集・発行

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会（市民センター内）  
〒321-2105 宇都宮市下小池町466番地1  
電話：028-669-2515 FAX：028-669-2972  
<http://shinoiweb.kuron.jp>

### 平成30年度 篠井地区ゆたかなまちづくり協議会活動

平成30年度は地域ビジョン策定の他、少子高齢化で地域事業への参加が困難な地域ができてきていることなど、環境変化に伴う課題が多いことから、団体連絡調整会議を開くなど意見交換の場を設け課題解決に向け取り組んで参ります。

先ず地域ビジョンですが、昨年実施したアンケートの結果は回収率77%以上と高く、如何に地域住民が地域の未来に関心を寄せているかが伺えます、そして自由記述でも意見、要望が沢山出されており、ビジョン策定に大いに参考になると思っています、ご意見大変有難うございました。

これからは作業部会で、皆さんの意見を慎重に分析し、5年10年先を見据えた実現可能なビジョンを策定して参ります。

また、連絡調整会議では各団体の活動内容、課題について話し合い、組織間の協力体制の構築や体育協会主催の球技大会・体育祭は活力ある地域創りに重要な事業であることから、

その実施方法等について地域全体で検討していきたいと思っています。

その他今年度も引き続き地域振興・4部会・地域活性化プロジェクト事業を展開致します。「誰もが住み続けたいまち」を創るために皆様のご協力お力添えを宜しくお願い致します。 文責 篠井地区ゆたかなまちづくり協議会 平野 勝



### まちづくり活性化プロジェクト活動

#### まちづくり活性化プロジェクト活動「篠井で遊ぼう」

少子高齢化が深刻です。この篠井の大自然の中に若者を呼び込み青壮年の横の繋がりを強めよう。

期 日：11月下旬

場 所：未 定

内 容：詳細は後日 HP 等に掲載予定



#### 「篠井のHPプロジェクト」

昨年度発足しました、私達「新生☆HPプロジェクトチーム」ですが・・・(°д°) 少ない歩幅ながらも着実に一歩ずつ前進してまいりました。

さて、私達の今後の活動といたしましては、既存の旧HPから新HPへの移行準備をメインとして、篠井のイベント情報や旬な情報をリアルタイムに発信したいと考えています。また、その他SNSでの情報発信の模索なども視野に入れながら私達の町『篠井』の発展のために貢献できればと思いま

す。(現在昨年度の芋コン風景・石那田天王祭写真コンクールについて掲載中です)

皆さん、篠井の風景・珍百景・人物など紹介したいもの(人)があれば、写真・データ・紹介文などを持って今すぐ市民センターへGO!

また、HP作成に参加したいという人も随時受付中です!!!

#### 「篠井写真まつり」

第2回「篠井の写真まつり」作品募集! 今年のテーマは「ふるさと自慢」。あなたが自慢できる篠井の暮らしや人々の表情などを作品してください。また、今回は「篠井の懐かしいお宝写真」を同時募集します。

自然・田植え・結婚式・お祭り...など時代を語る写真の展示などの活用を予定しています。是非、家に眠っている秘蔵写真の提供をお待ちしています。(写真はお返しします。)



## 第25回篠井うどんまつり開催

篠井と言えばうどん、恒例のうどんまつりが3月11日(日)に開催されました。今回は25回目の節目の年にあたり、趣向を凝らしたイベントが盛大に行われました。その中でも500個のガス風船をファンファーレの合図で来場者の手から一斉に大空に放され、会場全体が歓喜であふれ見事でした。また、まつりの名物であった「早食い競争」も復活し、「頑張れ、早く早く」と選手を応援する声が会場内に響き渡っていました。農産加工所では、「手打ちうどん体験教室」が行われ、家族や仲間グループで参加した人が楽しく篠井のうどんを味わっていました。これまで「うどんまつり」にご協力いただきました関係者の方々に感謝するとともに、今後とも地域発展の為、ご支援いただけますようお願いいたします。(事務局)

### うどん早食い競争結果

中学生以上の部 (5玉+かき揚げ)			小学生の部 (2玉+かき揚げ)		
順位	氏名	タイム	順位	氏名	タイム
1位	渡辺 渡	1分11秒	1位	朝稲 悠人	2分58秒
2位	青木 宏文	1分34秒	2位	荒牧 夏美	4分23秒
3位	矢野 学	1分37秒	3位	半田 奈々	4分46秒
4位	沼尾 浩行	1分40秒	4位	寺崎海来斗	5分00秒
5位	西澤 通雄	1分48秒	5位	—	—

※1玉160グラム



## 春の交通安全県民総ぐるみ運動

春の交通安全県民総ぐるみ運動が4月6日(金)から15日(日)までの10日間行われ、篠井地区では国道119号線沿い、しばたりんご直売所様の駐車場をお借りして朝の通勤時間帯における立哨活動を行いました。

篠井地区では、国道119号線を中心に追突や出会い頭の交通事故が多発しています。

交通事故は、ちょっとした気の緩みから誰でも当事者になる可能性がありますので、車の運転をする際には、自分は交通事故を起こさないと強い気持ちでハンドルを握り、緊張感を保持した運転に努めましょう。

文責 下小池町駐在所



婦人徳重会では、春の交通安全総ぐるみ運動に合わせて女性ドライバースクラブの方と一緒に新入生児童に交通安全啓発運動を毎年入学式翌日の朝、小学校の昇降口で行っています。今年は男子6名女子9名計15名の新入生に一声掛けながら粗品を手渡すと「ありがとうございます」と元気な声が返ってきました。

文責 手塚 京子



## 消防操法大会

平成30年度宇都宮市消防操法大会が6月2日(土)に屋板運動公園で開催されました。篠井分団の代表として第四部(上小池)が小型ポンプの部に出場し、日頃の訓練の成果を披露しました。

後藤部長ほか選手と補助者は、4月14日(土)の開始式から主に夜間訓練を実施し、この大会を通じて消防団員の使命である有事の際の安全・確実な消防活動を行うための技術の習得と団員相互の信頼関係を築くことが出来ました。

関係者の皆さまや団員のご家族には大変お世話になりました。

文責 齋藤 明宏



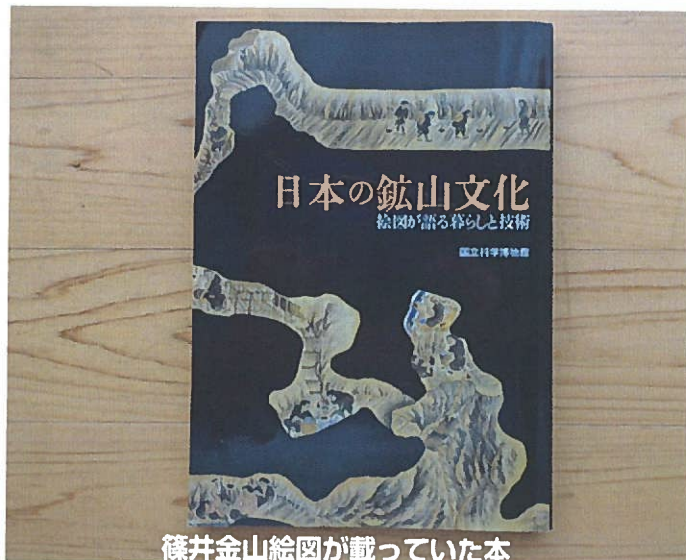
## 江戸時代の「篠井金山絵図」の複製品が市民センターに飾られました～東京の博物館から絵図データを手入～

私は今から7、8年前に地域情報紙の広報委員をやっており、2年位かけて篠井金山の歴史について連載記事を書かせてもらいました。その後も金山の歴史をいろいろ調べていたのですが、昨年、「日本の鉱山文化」（国立科学博物館発行）という本に江戸時代の篠井金山絵図というのが載っているのを偶然発見し大変驚きました。解説によると絵図の現物は国立科学博物館（東京・上野）に所蔵されているが、常設展示されてはならず、通常は見ることは出来ないという。

そうだ！絵図のコピーを作って篠井地区市民センターに飾せてもらおうと思立ちました。博物館で人目に触れずに保管されているよりも篠井の市民センターにコピーを飾っておいた方が地域の歴史を伝えるためにはいいと思ったからです。

早速、博物館に問合せして、コピーデータをもらえないか聞いてみたところ、金山絵図の電子データを無償で入手することが出来、パネルに仕上げました。その後、まちづくり協議会、篠井地区市民センターのご支援を得てパネルを今年2月に市民センターロビーに飾って頂きました。（パネルは絵図現物と同じ120cm×55cmで作成）

（絵図の内容）



男山、本山（絵図では元山という表記）にあった金山の坑道口までの道筋が赤い線で示されています。また当時の篠井地区の様子も細かく描かれており興味深いです。

篠井金山は言い伝えでは戦国時代末期（1500年代後半）から江戸時代にかけて稼働していたのではないかとされています。江戸時代の全国の金山は徳川幕府の直轄領になり、有力金山では金山担当の役人が幕府に報告のために絵図を描かせたという事例が数多く存在しています。今回の絵図は江戸時代のいつ頃の様子なのか特定できませんが、恐らくはそのような目的で篠井金山絵図が作成されたのではないかと想像しています。

篠井地区市民センターにお越しになった際は金山絵図がロビーの壁に貼ってありますので一度ご覧になっていただければ幸いです。

文責 半田 聖滋

## ほほえみクラブ

まだまだ元気なメンバーで活動しています。

月1回の活動ですが、毎月お互いの元気な顔を見ることが楽しみです。

おしゃべりするだけでも、介護予防になると思っています。いつまでもこの地域で元気に歳を重ねていけることを目指しています。



## 篠井体育協会事業

### 体育協会行事

体育協会では、各種スポーツ大会等予定しております。体育祭・ゴルフ大会など皆様奮ってご参加下さい。

### 祝 県大会出場 篠井ミニバスケットボールスポーツ少年団

日頃より皆様からご支援いただいている篠井ミニバスが、予選を勝ち抜き第38回栃木県スポーツ少年団大会に出場しました。結果 第1試合45対32で見事勝利！！2試合目は47対48で惜しくも敗退でした。子供達は、勝つ喜び負ける悔しさを県大会という大きな大会を通じて肌で感じました。この気持をバネにこれからも頑張ります。ご声援本当にありがとうございました。是非興味のある方は遊びにきてね。

文責 和田部 絵美



※「しのいの散歩道」の冊子は、地区内各自  
治公民館、集会所に設置してあります。  
また、篠井地区市民センターの図書室に  
郷土資料として蔵書登録しましたので、  
貸出しできます。ぜひご利用ください。

上小池の大杉ばやしの御神輿おみこし

新渡神社の拜殿内に、大杉ばやしの御神輿が祭られている。古老の話によると、昭和初期まで天狗の面を被った者が先導し、各戸を巡ったという。天狗は各家に上がり「阿婆大杉大明神悪魔を払ってえんやらや」と大声で怒鳴り悪病退散を祈ったと言う。

「阿婆アハバとは、常陸国桜川村阿婆アハバ(現在の茨城県稲敷市)にある大杉神社の祭神のことである。かつてこの神社の分霊が祭られたとき、地名の阿婆アハバが変化して「アンバ」になったと言われている。「アンバ様」の信仰は、千葉、茨城、福島、宮城、岩手などの太平洋沿岸の漁村に多く見られることから漁業との係わりのある信仰と考えられる。現在でも、春の訪れととも



もに鹿沼市板荷地区のアンバ様が大活躍している様子が新聞で紹介される。  
「しのいの史跡」  
(篠井公民館昭和五十二年)によると岡坪地内の高籠神社境内にも大杉様が祭られている。  
文責 阿久津義正

篠井小学校田植え

小学校の勤労体験学習として、田植を5月31日(木)にPTA 体験学習部を中心に松寿会・篠井田植唄保存会の皆様のご協力により無事に行うことができました。心配された天候も回復し、子供たちも裸足で田んぼに入ると、その感触に初めは大騒ぎでしたが苗を一本一本丁寧に植え終えて秋の実りを待ちます。

文責 手塚 和昭



ニュータウンが20周年を迎えました

ニュータウンの商業区域に写真館が出来ました。  
オープン日：平成30年5月1日(火)  
店名 photo studio Apartment (フォト スタジオ アpartment)



お知らせコーナー

篠井地区敬老会の開催

日時：平成30年9月9日(日)  
午前10時30分  
会場：冒険活動センターレストラン

詳細は各自治会へお知らせします。  
(社協)



【編集後記】

1年の半分には差しかかりました。「生涯学習センター」では、数多くのサークル団体が活動しております皆さん。こぞって各種サークル活動に参加いたしましょう。すこやかな心身で、暑さに備えたいものですね!

篠井地区データ (平成30年5月末現在)

総人口 2,459人 男：1,210人  
世帯数 980世帯 女：1,249人

情報提供やお問い合わせは  
篠井地区市民センターまで  
電話669-2515